



動物レスキュー通信

2016年 8月 第39号 (平成28年8月1日発行)

発行元
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

感染症について

さまざまな予防法



イラスト ASH

近年、エボラやMERS、デングなど、さまざまな感染症のニュースが報じられています。この感染症の多くは「人と動物の共通感染症」です。ワンちゃん、ネコちゃんなどのコバ、オンアマルだけではなく、飼い主さんやご家族、社会全体の健康と安全を守るため、感染症に関する様々な情報を集めたり、知識を身につける事はとても大切です。記憶に新しいものとしては2年前の夏、実に70年ぶりに日本国内でデング熱が発生しました。又、今年に入ると中南米でジカウイルス感染症が流行し、日本人旅行者が感染するなどしています。そもそも日本では1950年代以前の死亡原因は肺炎、胃腸炎、結核など、その大半が感染症によるものでした。しかし戦後、上下水道が整備され、衛生環境が向上し、ワクチンや駆虫薬などの対策がとられるようになったため、感染症による死亡者は減少し、心疾患やガン、脳血管疾患などの病気が増える事となりました。しかし近年この人と動物の共通感染症が増加している原因としては、多くの人や物が世界中を移動するようになった「事だ」と思われます。交通機関が発達したことにより感染症の病原体が簡単に世界中を移動できます。その上、短時間で移動が可能なので、感染したことに気付かないまま他国に出国してしまっていますので、感染が一国では収まらなくなつてしまします。又、都市化が進んでいるので人口密度が高くなることで昔よりも感染が広がりやすくなつています。動物から人への代表的な感染経路として①咬傷

②ひつかり傷 ③傷との接触 ④空気・ほこり(吸引) ⑤手指 ⑥吸血(蚊、ノミ、ダニ)などがあります。又、動物から人だけではなく、人から動物にうつしてしまうものもあるのです。その代表的なものが結核です。このように感染症とは知らない間に広がつてしまつ可能性があるのです、広がりないように予防する事がとても重要となります。では愛犬、愛猫を感染源にしないためには、具体的にどのような事気をつけなければいのでしょうか？

具体的な予防法

①ワクチン接種で予防 日本国内では狂犬病予防ワクチンは義務付けされていますが、それ以外にもワクチン接種で防げる感染症がありますので、予防できる病気をワクチンを接種させてあげましょう。②寄生虫の駆除 ノミやダニなどの寄生虫は様々な病原菌を運んできてしまいます。その他にも回虫や条虫などもしっかりと駆除してください。③健康診断を受ける ワンちゃん、ネコちゃんが健康であることがとても大切です。定期的に健康診断を受けさせてあげたり、普段と様子が違う場合には速やかに獣医さんに診てもらいましょう

④衣食住の環境を整える 良いフード、きれいな水、快適な寝床、適度な運動などで健康を維持する事がとても大切です。又、ネコちゃんの場合、自由に外出をさせていると、どんなところに行っているのか全く

分かりませんので、寄生虫の感染リスクが非常に高くなります。弊財団でも推奨していますが、完全室内飼いを心がけてください。⑤ケアで体を清潔に保つ シャンプーやブラッシング、歯磨きなどでワンちゃん、ネコちゃんの体を清潔に保つてあげましょう。又、引っかかれてしまわないようにネコちゃんの爪は切つてあげてください。散歩後のワンちゃんはノミやダニを連れて帰つていないかチェックしてあげましょう。⑥他の動物等との接触に注意する ワンちゃん、ネコちゃん同士というよりも、それ自身が感染源となるネズミやゴキブリなどを捕食してしまわないように注意してください。その為にはネズミ、ゴキブリなどの駆除が必要です。⑦咬み癖をつけない ワンちゃんやネコちゃんを素手でじやらすのはやめましょう。おもちゃやネコじやらしを使用し、咬んだり引っつかれないように気を付けてください。⑧濃厚な接触には注意 飼い主さん側の注意としては、ワンちゃん、ネコちゃんの排泄物に触れたら必ず手を洗ったり、口移しなどの濃厚な接触には十分に注意が必要です。そしてワンちゃん、ネコちゃん同様、飼い主さん自身も健康管理をしっかりと行って下さい。体力や免疫力が低下すると感染症にかかりやすくなります。又、6歳以下の子供や高齢者、糖尿病などの慢性的な持病がある方は感染のリスクが高いことを自覚したうえでワンちゃん、ネコちゃんと暮らして下さい。

このように、普段の心がけひとつで感染症を予防する事が出来ます。万が一ワンちゃん、ネコちゃんから飼い主さんに感染してしまつたことがあれば、飼い主さんと離ればなれになつてしまい、不幸な動物を増やしてしまうことにつながつてしまいますので、お互いの幸せを守るためにも感染予防を意識した付き合い方をするようにして下さい。(詩月)